



いつも本校の教育にご理解くださり、また、様々な面でご支援いただき誠にありがとうございます。早いものでもう2月になりました。学校では、そろそろ様々な場面でまとめの準備を始めているところです。また、今週の授業参観日にはこの1年の子どもたちの成長を見ていただきたく思っておりますのでたくさんのご参観をお願いいたします。

スキー教室



暖かい冬なので驚いています。スキー教室の実施が危ぶまれましたが、2月初めの寒波到来のおかげでかろうじて実施できて一安心しているところです。6日の一里野スキー場は、前日からの積雪もあり、なかなかコンディションもよかったようです。天気は雪が降ったり止んだりで、スキーの練習も十分にでき、学校に戻ってきた子どもたちの中には、日焼けしたのか頬の上が赤くなっている子が何人も見受けられました。

今年の暖冬の様子は、これまでとはまた違う異常気象と耳にしました。平成2年度から始まった白山市白峰の「雪だるま祭り」が今年度初めて「中止」になったと新聞に出ており、今年は見に行こうと思っていたので残念な思いです。また、1月に予定していた白山市の各小学校のスキー教室もほとんどが中止となり、その他石川県や富山県のスキー競技大会が中止を検討しているということです。これは、平成以来、最も積雪が少ない冬になるかもしれません。

このような状況を考慮し、来年度もスキー教室は2月に入ってからにしたいと考えています。

R2.2.6 (木)

6年生スキー教室

一里野温泉スキー場



感染症の流行

暖冬の中、学校での1月の欠席者の推移を見ますと、インフルエンザでの欠席は日々数名であり、現時点では珍しくインフルエンザ流行の兆しが無い状況です。しかし、今年は1月末より感染性胃腸炎と予想される児童がたくさん欠席する傾向にあります。多くの子の診断名がはっきりとしないのですが、家庭からの連絡では「夜間、吐き気を訴え、嘔吐した」という共通の症状があることがわかりました。

これまでも多くの児童が通う学校では、このようなことは時々起こりました。全般的に2日ほどすると腹痛などの症状が良くなり、食事もできるようになるので薬を処方され、安静にしていると治ることが多いようですが、大流行することもあります。ある年の大流行の際に学校医に予防について相談した時、「**感染性胃腸炎**の場合いろいろな種類があり、特定が難しいので、医師によって、『感染性胃腸炎』と伝える方や『おなかのかぜ』と伝える小児科の先生もよくいます。」という話を聞いたことがあります。そして、予防で一番大事なのは、「**手洗いの励行**」であると助言を受けています。



学校では、感染が広まらないように次の3点を特に指導しています。

- ① 手洗いをしっかりする。(せっけんで、指の間まで。特に給食前は念入りに。)
- ② マスクの着用。換気。
- ③ 具合が悪いときは、給食当番を代わってもらう。(朝の健康調べをしっかりとする)

ご家庭で夜間、吐き気などを訴えることがありましたら、早めに受診されることをお勧めします。また、登校できる程度の場合でも、担任までお電話でお知らせくだされば無理させないように十分配慮致します。よろしく願いいたします。

「防災の日(3月5日)」

前号で、「日頃からの**備え**の大切さも体験的に学習するような防災教育」にしていきたいという方向性をお伝えしました。そこで、3月の地震避難訓練の折に、災害食の試食体験と通学中の避難行動等の学習を合わせて「防災の日」として実施する方向で現在準備を進めています。

これは、新年度4月から恒常的に「備蓄体制」を運用する前に、一度試行しておきたいと考えたからです。保護者の皆様には、通常の給食を災害食(救給カレー)の試食体験に振り替える点へのご理解をいただきますようお願い申し上げます。



3月5日の災害食 献立

「救給カレー」とペットボトルの水

「石川県学校給食会」で取り扱っている安心の商品です。